チウラム・チオファネートメチル水和剤 ホーマイコート

取扱メーカー: 日本曹達

原体メーカー: 大内新興、日本曹達

成分: チウラム [有機硫黄 PRTR・1種] ------10.0% チオファネートメチル [ベンズイミダゾール系 PRTR・1種] ---10.0%

性状:類白色水和性粉末45 µ m以下

毒性:普通物 消防法:——

【品目特性】 ……………

- ●種子消毒用粉衣剤として使用の場合,粉衣薬量が多く(2~3%)粉衣しやすい製剤である。
- ●効果を強力に長続きさせるため、固着性のある 製剤である。
- ●固着性があり、果樹の休眠期防除に適し、残効性がある。
- 有効成分の特性は参考資料の「有効成分特性一 覧表」を参照。

【使用上のポイント】……………

- ●種子粉衣(球根粉衣)は適当な容器の中で本剤が均一に種子(球根)に粉衣するように少量ずつ 丁寧にまぶす。
- ●花の種子粉衣の場合の使用薬量は種子の形状に よって付着量が異なるので、所定薬量の範囲内で 加減する。湿粉衣はしない。
- ●水稲の種子消毒に使用する場合には次の注意事 項を守る。
 - ○種子消毒は浸種前に行う。
 - ○粉衣処理は付着をよくするため、あらかじめ 種子を湿らせ(塩水選、水切り後などが適当) 湿粉衣とする。

- ○粉衣処理をした種子を育苗箱には種する場合 は浸種終了後、浸種液中で過度の付着薬剤をゆ すぎ落してからは種する。
- ○薬剤処理した種もみは少なくとも数時間は放置して風乾後,水洗せずに浸種する。
- ○浸種は停滞水中で行う。
- ○浸種の浴比は1:2とし、水の交換は原則として行わない。但し、液温が高い場合など、酸素不足になるおそれがある時は静かに換水する。
- ●消毒後の球根は水洗せず植付けるか, 貯蔵する。

【安全対策上の注意】 ……………

- ●眼に対して強い刺激性があるので、眼に入らないように注意する。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落す。
- ●皮膚に刺激性があるので、皮ふに付着しないようにする。付着した場合には、直ちに石けんでよく洗い蒸す。
- ●カブレやすい体質の人は、取扱いに十分注意する。
- 魚類に強い影響, 甲殻類に影響を及ぼすおそれがあるので特に注意。











【適用と使用法】										
作物名	適用病害名	使用量	使用時期	10 a 当り 使用液量	本剤の 使用回数	使用 方法		チオファネートメチルを 含む農薬の総使用回数		
稲	いもち病 ごま葉枯病 ばか苗病 苗立枯病	種子 重量の 2~3%	浸種前		1 回	種子粉衣	1 🗉	3回以内 (種子への処理 は1回以内)		
大 麦	斑葉病		は種前					3回以内 (種子への処理は 1回以内,出穂期 以降は1回以内)		
きゅうり	炭疽病							6回以内 (種子への処理は 1回以内, は種 後は5回以内)		
アスター けいにば な	苗立枯病							5回以内		
チューリップ す い せ ん グラジオラス	球根腐敗病	球根 重量の 2~3%	植付前又 は貯蔵前			球根粉衣		3 凹丛四		

作物名	適用病害名	希釈 倍数	使用 時期	10 a 当り 使用液量	本剤の 使用回数	使用 方法	チウラムを含む 農薬の総使用回数	チオファネートメチルを 含む農薬の総使用回数	
なし	黒星病	50倍					5回以内 (休眠期は 1回以内)	11回以内 (塗布は3回以内, 休眠 期の散布は1回以内, 灌注は1回以内, 生育 期の散布は6回以内)	
かき	うどんこ病	50~ 100倍					2回以内 (休眠期は 1回以内)	10回以内 (塗布は3回以内,	
	炭疽病	50倍						休眠期の散布は 1回以内,生育期の	
もも	縮葉病		休眠期	200∼	1 🗆	散布	5 回以内	散布は6回以内)	
すもも	ふくろみ病	50~ 100倍	F119277J	700 l	1	BAIP	3回以内	6回以内 (塗布は3回以内, 休眠期の散布は1回 以内,生育期の散布 は3回以内)	
ぶどう	黒とう病 晩腐病 つる割病						3回以内 (休眠期は 1回以内,	5回以内 (塗布は3回以内, 休眠期の散布は1回	
	枝膨病	50倍					生育期は 2回以内)	以内,生育期の散布 は 1 回以内)	